

01

残食ゼロを目指すのではなく

「食べることが楽しい」と感じられることを優先します

「残したら怒られるかもしれない」という不安が強くなると、食欲が減退してしまい、さらに食べられなくなる場合があります。

02

食べられない子が無理なく食を広げるためには、

① 安心して過ごせる環境を作る

② 子どもの状況や食べない理由を適切に把握する

③ 無理強いせずにスモールステップで勧める

そのような関わり方が大切です。

最後に

給食に苦手意識のある子は、毎年一定数います。

本校の給食を通し、

子どもが食べることを好きになることで、

食べ物や食に関わるすべての人への

感謝の気持ちが自然と育つようサポートしていきます。

日々の給食指導でお困りの際は、

ぜひ気軽にご相談ください!ご協力お願いいたします。